



議会だより

須恵小学校「読み聞かせ」



あさぎり



あさぎり町議会 [検索](#)

通年議会
第1・2回会議

一般会計補正予算

- 原案通り可決 2P
- 一般質問に10人が登壇 6～10P



介護予防サポーター養成講座

議会で図書司書増員を要望 407万7千円を追加

総額 97億3,150万4千円

第1回会議が4月15日に開催され、一般会計補正予算案が提案され原案通り可決された。3月議会提案の当初予算では、4名の図書司書を置くこととなっていた。そのため、小学校によっては図書司書が学校をかけもちすることになり、毎日、図書室を利用できない児童も出てくる。議会では、より充実した読書環境を図る必要があるとの意見の一致をみたので、執行部に対し図書司書増員を要望し提案されたもの。

●図書司書派遣委託料 407万7千円……当初4名に2名を追加し全学校に配置

交付金配分が減額され 総額 1,031万6千円を減額

総額 97億2,118万8千円

第2回会議が、6月10日から13日までの4日間の日程で開催された。

一般会計補正予算、25年度繰越明許費等が提案され、すべて原案通り可決された。また、一般質問では、10名が登壇し様々な視点から町政を質した。

審議内容の抜粋

財産管理費290万円

旧岡原中学校への企業誘致にともなう電源設備、変圧器設備の設置を行うため。

問

後には、体育館も使う計画だが、今回の電気工事で全て賄うことができるのか。

総務課長

今回の設備で対応はできない。

問

電力量が不足する場合、町が今回の様に対応するのか。

総務課長

追加設備については、企業でしていただく。

保育所整備事業費補助金 520万円

免田吉井保育所改築工事で当初の計画変更及び補助基準額の見直しにより9,944万7千円が10,464万7千円に。

稼げる園芸産地育成対策 事業補助金226万8千円

イチゴ、トマト農家へのハウス自動換気装置導入補助によるもの。

鳥獣害防止事業費

160万円

鹿・猿・イノシシについては、国の補助金が出る。鹿1万円、イノシシ9千円に増額、猿の5万円、アナグマ・カラスの1千円は同じ。



畑を食い荒らす野生の猿

道路改良費補助金減額 5,642万6千円

交付金要望として申請したが減額配分によるもの。

公民館等施設整備費

補助金105万6千円

各地区からの申請6件で、下水道接続、雨漏り修繕工事、畳張り替え、床板修繕費。

生涯学習センター事業費

82万1千円

案内標識設置工事によるもの。

体育施設費

553万1千円

体育館予約管理システム構築委託料で教育委員会と各支所に予約管理専用システムがないため、重複の貸出や空き状況の照合等に誤りが発生していたためシステムを導入するもの。

問

家のパソコンからも予約できるのか。

教育課長 パソコンやスマートフォンからは施設の空き状況のみ確認できる。予約については調整が必要となることから今回のシステムには入っていない。

25年度繰越明許費総額

4億8,981万5千円

審議内容の抜粋

問

救護施設の食器洗浄機購入費・学校応援団パトロール用ベスト・中学校カーテン購入費等の繰越理由は。

福祉課長 食器洗浄機購入費を昨年6月補正で可決後機種選定、事

務取扱いに不備が発生したため、今後十分注意をしていきたい。

教育課長 パトロール用ベスト・中学校カーテン購入費は3月補正で可決後、4月8日に納品完了した。

※繰越明許費とは――

地方自治法第213条に規定され、予算が成立して事業を執行する中で、その年度内に事業が終了しない見込みとなった場合に、予算を翌年度に繰り越して執行することができるもの。

一般会計

平成25年度 繰越明許費繰越計算書

事業名	翌年度繰越
防犯灯設置工事(2工区)	250,000円
子ども・子育て支援システム導入業務委託	3,304,800円
保育所整備事業費補助金	98,466,000円
救護施設業務用食器洗浄機購入費	627,000円
農業基盤整備促進事業	236,100,000円
駅前整備事業	2,862,000円
橋梁補修事業	46,000,000円
道路改修・歩道整備事業	96,966,000円
学校応援団パトロール用ベスト購入事業	216,000円
上小学校パソコン室トイレ改修事業	3,200,000円
あざぎり中学校特別教室カーテン購入事業	324,000円
辰堀川災害復旧事業	1,500,000円
合計	489,815,800円

下水道事業特別会計

事業名	翌年度繰越
污水管渠築造工事	172,588,000円
合計	172,588,000円

条例の制定及び改正

発議第1号

町長の専決処分事項の指定に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

突発的な感染症又は家畜伝染病予防のため、応急に必要となる予算補正に対応するため所要の改正を行うもの。



熊日新聞より

議案第2号

議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例の制定について。

「定住自立圏構想推進要綱（平成20年総務省事務次官通知）の規定による定住自立圏形成協定の締結、変更又は廃止を求める旨を通告すること」の条文を追加するもの。

議案3～5号

あさぎり町ヘルシーランド条例ほか2条例の一部を改正する条例の制定について。

ヘルシーランド、高齢者コミュニティセンター、ふれあい福祉センターにおいて、指定管理者が定める利用料金の額に設定上限がないため、その上限額を定めるもの。

議案6～10号

おかどめ幸福販売店・農産物加工所条例ほか4条例の一部を改正する条例の制定について。

おかどめ幸福販売店・農産物加工所、ふれあい物産館、岡原農産物処理加工施設等、深田農産物処理加工施設、有機センターにおいて、指定管理者が定める利用料金の額に設定上限がないため、その上限額を定めるもの。

発議第2号

通称「ガラ・チョコ」条例の一部を改正する条例の制定について。

飲食店業、消費者が食中毒防止のための意識を高め、持ち帰るためのルール作り（事業者の役割、消費者の役割等）が必要であるため所要の改正を行うもの。

陳情書の委員会付託

「26年度以降建設予定の須恵地区町営住宅入居条件等に関する陳情書」については総務文教・建設経済常任委員会に付託（抜粋）

1. 少人数複式学級対象年齢の児童をお持ちの家庭を優先して欲しい。
2. 須恵地区への町営住宅建設事業を継続して欲しい。



平成26年度 第2回 議案表決一覧（抜粋）

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町ふれあい物産館条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町有機センター条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度あさぎり町一般会計補正予算(第2号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長の専決処分事項の指定に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
通称「ガラ・チョコ」条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議会活性化特別委員会中間報告

町長と議会議員の同時選挙は……

平成24年6月18日、第1回委員会が招集され、小見田委員長・永井副委員長を選任し、その後現在まで、延べ14回にわたり委員会を開催してきたので、現時点での審議結果等について項目ごとに報告する。(順不同)

① 議会報告会の開催について

住民からの意見を幅広く聴取し議会活動に反映させるため、議会報告会を平成23年7月に第1回、25年2月に第2回を開催し、第3回目は前回までの町民参加者数の反省から、会場を校区ごとの5か所に増やし2班体制で2日間の日程で平成25年10月に開催をした。今後においても、報告内容は当然のことながら、より多くの町民参加が出来るよう検討を行なっていく。また、各種団体との意見交換会などについても適宜実施していくこととした。

② 通年会期制度の導入について

主導的・機動的な議会運営を図る見地から、通年議会制度の導入について平成23年9月から平成25年2月までの試行期間を踏まえ、平成24年9月の地方自治法の改正が行われたことによって、本町議会もこの制度を導入し、平成25年度から施行した。(関係条例、規則など同年3月議決)

③ 議会基本条例の制定について

本議会は、なお一層の議会改革、議会活性化を図るため、「町民に開かれた議会」を目指した取り組みを行っている。

議会及び議員は、これらの取り組みを継続し、自らの行動のあり方を見つめ直しながら、議会の機能を駆使して、与えられた役割と責任を果たしていくため、本条例を制定した。

具体的な策定作業は議会運営委員会に委任し、先例議会の条例も参考に加え最終案の調整を行い、活性化特別委員会発議により、提案、可決した。(平成25年6月議決)

④ 町長と議会議員の同時選挙について

このことについては、区長との意見交換会や議会報告会でも取り上げられて、本議会の態度を求められているところである。本特別委員会でも調査事項に挙げて審議を行ってきたが、「自治体にとっては選挙費用の経済的負担、投票率の上昇が期待できるなど同時選挙を行うことの効果はある。」一方で課題としては、「自治体の経費節減には議会も当然協力すべきではあるが、長と同時選挙をするために自ら解散し有権者から託された4年間という任期を放棄してまで行うべきではなく、残りの任期で議会(議員)ができたことができなくなるマイナスの効果の方が、住民にとって大きい。」と判断し、本特別委員会においては、町長と議会議員の同時選挙は行わないこととした。

以上が現在までの調査及び実践だが、現任期中で一応の成果を出すため、平成27年9月定例会議での最終報告を目指し、今後も調査及び実践を継続する方針であることを付して、議会活性化特別委員会の中間報告とする。

平成26年6月13日

議会活性化特別委員会
委員長 小見田 和 行

問 生き残れる町づくりには今の働き盛りの世代の健康管理が非常に重要では

保健環境課長 今後社会保険の方も含め広く保健指導を進めていく



加賀山 瑞津子 議員

加賀山 生活習慣病予防を図ることで将来的に医療費削減につながる。農繁期への配慮も含めて、健診の時期の検討と国保の方の特定健診受診率アップに向けての取り組みは。

町民課長 受診目標値を29年度65%としている。25年度は59.2%。40、50代の方の受診率は52.1%。受診率向上にむけて訪問活動や未受診理由のアンケートを実施している。

加賀山 町民の健康管理として捉えると国保、社保にかかわらず働き盛り世代全般に対しての予防事業が大切では。

保健環境課長 保健師が地区に向く機会を増やし、町民の方が生活習慣を見直す場としてつなげていきたい。

加賀山 球磨、人吉の保健師は県



特定健診受診で生活習慣病予防を

内でもよく頑張っているとの評価がある。女性ならではの細やかな気遣いや活動が町の全世代の健康づくりに生かされている。今後町長はどう生かしていくつもりか。
町長 一般会計の3分の1を占める民生費、医療、介護費用をどう削減するか、大きな課題である。あさぎり町は近隣町村に比べ保健師、栄養士のスタッフも揃っている。今後もこの強みを生かし予防活動を徹底していきたい。

問 人口減少と財政規模の縮小を前提とした職員数の削減は

町長 町民 100 人に 1 人の職員数が人員管理の目標である



久保 尚人 議員

100人に1人の職員数が人員管理の目標である。
久保 人件費削減は、財政運営上、絶対に必要だが、限られた財政資源（人・物・金）が有効に活用された効率的な行政運営があってこそ。

職員の仕事処理能力の強化、ICTを駆使した業務改善、総合窓口サービス、マンパワーが生きる組織づくり等の努力が、同時並行して行われなければ、町民への行政サービスは低下していくと思われる。町長の考えは。

町長 職員削減が進む中で、町民へのサービスの質も落とさず、職員のやる気も損なわないで、軟着陸することは難しい取り組みだが、乗り切る必要がある。

久保 そのためには、日々の業務の改善等が自発的に行えて、共有できる仕組みが必要。進化していく組織には非常に大事なことです。

このような仕事こそが、管理職の仕事でもある。

町が発表しました25年度から10年間の第2次あさぎり町総合計画では、平成28年度には、実質単年度収支で1億8700万円の赤字という厳しい財政を想定していますが、人件費に関しては、25年度の17億2300万円が、28年度には17億1300万円の見通しとなっており、3年間で1000万円の削減予定ではないことが伺えます。

0人が登壇

※一般質問の文章については、質問者の責任においてそのまま掲載とします。

問 くま川鉄道「田園シンフォニー」と観光振興の結びつきは

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する。

町長 大事な場面であるので、時間をかけずに取り組む



豊永 喜一 議員

豊永 くま川鉄道の新型車両を使った観光専用列車「田園シンフォニー」が運行開始から、約3カ月経ったが観光振興の結びつきはどのように進めるのか。

町長 あさぎり町には、さまざまな観光資源があるが、それをどう誘導するのか、ここは真剣に本当に大事な場面であるので、あまり時間をかけずに取り組むべくチャンスと受け止めている。

豊永 くま川鉄道の赤字解消に向けた対策は

副町長 通学生は減ってきているが、観光入り込み客を増やす。田園シンフォニーの乗車率を上げる。旅行業での営業収益を増やす。くま川鉄道本来の鉄道業収入を補うような形で、収入を増やそうと努力している。

◎その他の質問
(有)ふるさと振興社に対する人吉労働基準監督署の検査について



観光振興が期待される田園シンフォニー

問 球磨郡公立多良木病院の現状と今後の体制は

町長 平成27年度、赤字から脱却した安定した病院経営を目指す

皆越 球磨郡公立多良木病院の現状と、町民が懸念している医師不足、救急病院としての目的は達成できたのかどうか。

町長 今年、25年度20名程度の医師確保と想っていたが、現在2、3名の不足と言うことで院長を始め、先生方を中心に動いて頂いているのが現状。24時間受け入れも行っているが、万全の体制とは言い難い。

皆越 企業長は26年度のみか、それとも契約期間を結んでおられるのかどうか。

町長 特に期限は設けていない。

比較的小さい先生であるのでしばらくはこちらで仕事をして頂けるものと思っている。

皆越 25年度大幅な赤字だったと思うが、解消に向けての努力はどのように考えているのか。

町長 2名程度の医師を確保し、平成27年度安定した病院経営にむけて動き、収支も赤字から脱却すると言う事と共に毎月1回の経営検討会をフォローしていくという体制を構築して今、進めている。



皆越 てる子 議員



再建が望まれる公立病院

問 来春の町長選への出馬は

町長 3期目に出馬する

奥田 愛甲町長は、平成19年4月町長に初当選され以来、2期7年を務められ、来春4月26日の任期満了を迎えられる。その間、あさぎり中学校の統合や通学路の整備、町営住宅の建設など、数々の事業をこなしながら、温厚な性格で町民には等しく接せられ、多くの町民から信頼を得てこられた。また役場内においても、職員に対する平等な対応で職場の環境づくりに取り組んでこられた。そのような点から、私はあさぎり町を立派に導いてこれたと評価している。3期目の町長選に対し町民の皆さんも、続投を希望する方も多いと考える。私も希望者の一人であるが、町長3期目に向けての出馬の意思はおありなのか伺う。



奥田 公人 議員



町長 課題解決に向けて、役場職員と一緒に動いている。当初一番最初に掲げた若者が残れる町づくりをもう一歩踏み込んで行いたいので3期目の町長選に出馬するという意思を表明したい。

◎**その他の質問**
ふるさと納税者に対する特産品の返礼を考えられないか。

問

あさぎり中に県駅伝を誘致するための組織づくりの考えは

町長 組織づくりはしたい



橋本 誠 議員

橋本 前回一般質問後の誘致活動はどくなっているのか。

教育長 人吉球磨中体連の評議員会を通じて町の意向を伝えた。課題は多いが、29年以降の県大会をあらゆる機会を通じて働きかけていきたい。

橋本 地元開催に向けて、町部局・教育委員会・社会教育団体・商工会等各種団体が一緒に取り組みが必要である。あさぎり中に県駅伝大会を誘致するための組織づくりの考えはないのか。

町長 組織づくりはしたい。



平成25年度都市中体連 駅伝大会

通学路の安全確保については

橋本 県道皆越免田線の改良がなされたが通学路の安全確保が保たれていないが。

建設課長 道路幅員が狭く、通学路の安全確保が十分ではない。

橋本 現在、排水対策のため工事箇所（側溝新設）を安心安全な通学路として整備拡充する考えはないのか。

町長 大事なことなので、前向きに検討する。



県道皆越免田線交差点改良箇所付近見取り図

問 消滅可能性のある自治体の発表を

どう受けとめたか

町長 各自自治体に警鐘を鳴らしたものだ

永井 日本創成会議の発表では、2040年頃を期に消滅の可能性が出てくる自治体にあさぎり町が含まれていたが、この事を町長はどう受けとめたか。

町長 消滅という、非常にセンセーショナルな言葉が使われたが、2040年は人口の波が大きく変わる場面だ。そういう時期を各町村は、どう手を打っていくのか警鐘を鳴らした言葉だと受けとめている。

永井 人吉球磨の全市町村が、消滅可能性のある自治体に含まれているのだが、「人吉球磨定住自立圏構想」でこのことから抜け出さなければならぬ



永井 英治 議員



消滅しないあさぎり町の将来を担う子ども達

と思うが。

企画財政課長 これは、人吉市と各町村が協定を結ぶことで、定住自立圏を形成するとということなのだが、雇用の確保や子育てしやすい環境づくり等、協定の中に盛り込んでいければと思っている。

問 球磨焼酎や地場の農産品・加工品など地産地消をもっと推進すべきではないか

町長 町で地産地消ということを強く言ってこなかった 今後は地産地消に一層取り組んでいきたい



溝口 峰男 議員

溝口 町長の交際費の使い道に問題がある。広告費や町内での御樽、会費等に多く使用され交際費の効果があらわれないのではないか。

町長は町のトップセールスマンであるから地場の商品を持って各方面の方々に紹介していくなら町の活性化にもつながる。この様なものに交際費を使う事も考えるべきではないか。

また、地産地消の取り組みがなされていない。もっと推進すべきでは。

町長 交際費は節約しないといけないという意識があった。各方面への陳情などに町の推奨商品等を持ってセールス活動すれば活性化につながると



少なくなったあさぎり中学校給食の食べ残し

思うのでそのように使用させていたきたい。また町では地産地消という事も強く言ってこなかった。今後は力を入れて取り組んでいきたい。

溝口 食べものは「ごちそうさん」「もったいない」の精神で胃袋に消費する条例もできた。「食べ残しを減らそう町民運動」「30・10運動」に取り組み、生ごみ減量に力を入れるべきではないか。

町長 十分価値ある取り組みだと思う。町の取り組みを具全体に広げたい。

問 特別支援学級生徒への通学支援は

教育課長 支援の可能性について検討していく



小見田 和行 議員

小見田 障がいがあるが故に自転車に乗れず歩いて片道1時間かけて、あさぎり中学校特別支援学級へ登下校している生徒がいる。スクールバスの路線外なのでこのようになってはいるが、はたしてこの通学時間、歩いている距離が適正なものなのか。今後も特別支援教育対象者の増加が予想される中、通学支援策を伺いたい。

町長 具体策はまだ見出していないが、通学環境向上に向け、踏み込んだ検討をしてみたい。

教育長 中学校を統合した故に通学距離が長くなったわけで、行政としても考える必要があると思う。

遊休資産売却促進は

小見田 公営住宅跡地を積極的に売却すべきだと思うが。

町長 一区画の広さ、払い下げ価格等を決め売却できるものは売却したが良いと思う。

建設課長 総務課管財係と連携しながら今後、進めていきたいと考えている。

通学距離について

(文部科学省ホームページより抜粋)

● 通学については、子どもの発達段階、通学の安全確保、交通手段などを総合的に勘案して、各地域の事情を踏まえて市町村において適切な在り方を検討すべきである。

● その際、例えばバスの場合には概ね1時間程度を上限とし、徒歩の場合には概ね30分から1時間程度を上限とするなど、距離だけでなく時間を基準に定めることも考えられる。

問 愛甲町政7年間の事業検証を

踏まえ3選への進退は

町長

反省すべきは反省して町の力を発揮できるよう取り組んで行く



徳永 正道 議員

徳永 福岡に開設したアンテナショップ、それに伴う地域ブランド開発事業等はいずれも費用対効果、目的成果が上がる事なく終わっている。色んな事業に取り組む姿勢は評価するが初期の段階での検討が足らなかつたのではないかと。若者が残れる町づくりを掲げて初当選以来7年を経た今でも基盤さえできていないばかりか、人口さえも減少が進んでいる。そんな状況の中で確固たる構想はあるのか。言葉だけが一人歩きしている感じがするし実行が伴っていない。このようなことに關して責任の度合いを如何お持ちか伺いたい。

町長 確かに反省すべき所もあるのでしっかり反省し、より安定して合併町の力を更に発揮できるように取り組んで行きたい。

徳永 町長の指導力に陰りが生じているのではないかと。この際、後進に道を譲り指導的立場に回られることに思いを変えて進退の再考を願いたい。



八代の会社、山平に引継がれている椎茸栽培事業

一部事務組合及び常任委員会報告

人吉球磨広域行政組合議会

3月28日（金）、午前10時よりクリーンプラザ大会議室にて第1回定例会が開催され、条例の一部改正、条例の一部制定、26年度の広域行政組合一般会計予算案等を審議採決した。第2回臨時会が5月29日（木）午前10時より開催され、ふるさと市町村圏特別会計補正予算案が提案され原案通り可決した。

総務文教常任委員会

5月29日、午前9時30分より、上小学校、免田小学校、中学校を訪問し授業参観の後、学校の実状の説明を受けた。午後3時より全学校長・教育委員会・南稜高校長との意見交換会を実施した。6つのテーマ（子どもの読書活動・学力向上・道徳教育・学校改革・高校存続等）についてそれぞれの立場からの意見が出された。今後、保護者の期待に応えるため、学校・行政・地域が連携して教育環境の整備に努めなければならない。



免田小学校での授業参観

建設経済常任委員会

5月30日（金）午後1時30分より本庁舎会議室にて所管事務調査を実施した。26年度建設課所管事業計画、農林振興課所管事業計画、商工観光課所管事業計画、上下水道課所管事業計画をそれぞれ詳しく説明を受け、委員会としては円滑な事業実施を求め課題解決に向けた申し入れをした。

厚生常任委員会

5月30日（金）生ごみ分別の現状について

生ごみ分別（堆肥化）事業は、25年度が96tの回収実績である。また、クリーンプラザに持ち込まれた本町の可燃物ごみは、対前年比で91tの減少となっている。この事は、可燃物ごみが生ごみ分別（堆肥化）事業により減少している事が、数字の上でもしっかりとした実績となっている。委員会としては、生ごみの分別（堆肥化）事業はこれからも推進していかなければ、と



人吉球磨クリーンプラザ

の意見の集約を見た。

上中球磨巡回支援専門員整備事業について

障がいがある気になる段階からの支援をするために、未就学児童に実施されている。巡回支援の依頼をしてくる保育所によって温度差があり、保育所そして何よりも保護者の理解が不可欠であると委員会では認識をした。

あさぎり町教育委員の任命同意



中村 富人さん（63歳）

あさぎり町上南

あさぎり町議会

第2回会議で任命に同意した。

あさぎり町議会構成

平成26年5月7日現在

【議会運営委員会】7人

区分	氏名
委員長	田原 健一
副委員長	皆越 てる子
委員	溝口 峰男
〃	森岡 勉
〃	永井 英治
〃	徳永 正道
〃	久保田 久男

【総務文教常任委員会】6人

区分	氏名
委員長	溝口 峰男
副委員長	森岡 勉
委員	加賀山 瑞津子
〃	橋本 誠
〃	久保 尚人
〃	山口 和幸

【厚生常任委員会】5人

区分	氏名
委員長	永井 英治
副委員長	皆越 てる子
委員	豊永 喜一
〃	奥田 公人
〃	橋爪 和彦

【建設経済常任委員会】5人

区分	氏名
委員長	徳永 正道
副委員長	田原 健一
委員	小出 高明
〃	小見田 和行
〃	久保田 久男

【広報調査特別委員会】6人

平成26年5月1日～平成27年4月30日

区分	氏名
委員長	加賀山 瑞津子
副委員長	橋本 誠
委員	徳永 正道
〃	小見田 和行
〃	田原 健一
〃	溝口 峰男

【議会活性化特別委員会】全議員

区分	氏名
委員長	小見田 和行
副委員長	永井 英治



あさぎり町議会選出の一部事務組合議員

平成24年5月7日～平成28年4月30日

【人吉球磨広域行政組合議員】4人

番号	氏名
1	徳永 正道
2	豊永 喜一
3	皆越 てる子
4	溝口 峰男

【公立多良木病院組合議員】5人

番号	氏名
1	久保 尚人
2	小出 高明
3	奥田 公人
4	久保田 久男
5	田原 健一

【上球磨消防組合議員】3人

番号	氏名
1	橋本 誠
2	永井 英治
3	小見田 和行

【川辺川土地改良事業連絡協議会議員】1人

番号	氏名
1	森岡 勉

あさぎり町議会選出委員等

【社会福祉協議会】2人

区分	氏名
理事	永井 英治
評議員	皆越 てる子

【民生委員推薦会委員】1人

番号	氏名
1	豊永 喜一

【町営住宅入居者選考委員会委員】2人

区分	氏名
総務文教委員会	久保 尚人
建設経済委員会	小出 高明

あさぎり町防災協会 との意見交換会

5月9日（金）町内建設業者29社
でなる防災協力会の方々と意見交換
を行った。

平成24年度の代表的な公共工事を
例にとり、平成11年度の労務単価に
置き換えて算出した工事費と24年度
の単価で算出した工事費を比較した
場合、労務費が工事費に占める割合
が大きくなればなるほど利益は少な
くなる。

また、先般発生した鳥インフルエ
ンザ防疫においては、検疫所設置等
全面的に協力されたことなどを説明
された。

議会としては、防災協力会の日頃
の活動に感謝するとともに、今回い
ただいた意見を受け止め、より一層
の防災意識を高め、町民の安心・安
全な暮らしに寄与すべく決意を新た
にした。

議員のボランティア活動

～ツクシイバラ除草清掃作業に参加～



ツクシイバラは、バラ科のバラ属に分類される植物。九州を意味するつくし（筑紫）とイバラを合わせた名前で、南九州独特のノイバラの意味。

日本一のツクシイバラ自生地は、あさぎり町の免田下流域とあさぎり町と錦町の球磨川の河川敷に多く群生し、毎年5月末頃から6月上旬まで桜色の花を咲かせる。ツク

シイバラは熊本県の絶滅危惧種に指定されている。

ツクシイバラウォーキング大会が、5月31日、くまがわ鉄道、岡留幸福駅を9時30分スタート、ゴールの6.5kmで開催された。参加者は90名（子供を含む）。そのうち地元の方が50名参加され、初めて参加された人の中には、ツクシイバラの香りに感動したとの声も。遠くは福岡市内の人も参加され、手づくりのカレー、ぜんざいが振る舞われ、冷ぜんざいは好評だった。大会前に気持ちよく参加して頂く為に4月27日除草清掃作業を議員が集まりボランティア活動を行った。今後もあさぎり町の活性化に向けて積極的に取り組んでいきたい。

ダムによらない治水対策勉強会

人吉球磨の市町村議会議員を対象とした勉強会が6月27日、せきれい館で開催された。昨年2月に次いで二回目で、約100名が出席し、国や県の担当者から、

これまで積み上げてきた川辺川ダムに替わる治水対策案などが示された。①球磨川の河床掘削 ②市房ダムの有効活用策 ③遊水地の設置など。これらの対策案をすべて実施した場合でも全国の国直轄の河川より人吉市や球磨村渡地区では安全度が低く、昭和40年、57年に大きな被害が出たレベルの豪雨を想定した場合、洪水は避けられないというシミュレーションも示された。議員からは、「まず球磨川の堆積土砂の浚渫を行った上でないと遊水地の計画は住民の理解を得られないのではないか」とか代替案

に対する厳しい意見や質問が相次いだ。国は「堆積土砂の除去など河川の維持管理はダムの存在にかかわらず、河川管理者の責務であるが、抜本的に大きく治水の安全度を上げる対策は見い出せていないのが現状」と理解を求めた。

このような勉強会を通して、執行部と一緒に議論を深めていく必要性を感じた。



有効な治水対策は(平成18年7月22日の人吉市)

全議員でおもてなし

第12回球磨川マラソン大会が11月2日に開催されることが5月21日の実行委員会で決定された。球磨川マラソン大会は、一昨年度執行部から中止をするとの報告がなされたが、議会から歴史ある大会であるうえに、7～800名の参加者がある大会を新たに作ることは難しいのではないかと等々の意見が出て継続することとなった。そのため、実行委員長に議長、副委員長に総務委員長が努めることになった。

第12回 球磨川マラソン大会 11月2日(日)に決定

ゲストランナー



世界陸上セビリア大会
女子マラソン銀メダリスト

市橋 有里

1977年11月22日生まれ。徳島県鳴門市出身。中学卒業後の1993年に上京。「トップレベルの長距離ランナー育成」を目的に誕生した陸連直轄のランニングクラブで、本格的トレーニングを開始。1999年世界選手権セビリア大会で銀メダルを獲得。世界大会マラソン種目では、史上最年少のメダリスト。2000年シドニーオリンピック出場。

今回の大会にむけて23名による実行委員会が発足した。昨年度はエリック・ワイナイナさんをゲストランナーに迎え735名の参加者があった。今回は、800名の参加者を目標に、市橋有里さんを迎え開催することに決定した。

昨年にもまして、町民ぐるみの「おもてなし」で盛り上がる大会にできる様に計画していきます。町民の皆様のご協力をお願いします。



「風景3」(100号)



「廃家」(50号)

生涯学習センターの落成に伴い、自筆の絵画2点(百号と五十号)が中山利江様より寄贈されました。中山様のご遺志を尊重し生涯学習センターの一室に飾られました。

故 中山昭吾氏 (旧免田町議会議長)
生涯学習センターに絵画寄贈

全国正副議長研修会報告

議長 橋 爪 和 彦

5月27・28日に開催された全国町村議会議長・副議長研修会に久保田副議長と参加しました。

一日目、江藤俊昭山梨大学教授の基調講演の後、昨年度優良議会受章の4町村議長をパネリストに議会改革シンポジウムが開かれた。

なお、基調講演の要旨は以下のとおりです。

一、効率を重視する行政改革と地域民主主義の実現を目指す議会改革は違う。議員定数や報酬の議論は、現在の議員ではなく、将来、議員を目指す人の参加のハードルを低くして持続的民主主義を確立する視点で考えるべきだ。

二、地域経営の軸は総合計画であり、個別計画は総合計画と連動しなければならぬ。

三、自治体改革が進み、行政主導で住民参加・協働が行われるようになった。住民自治の根幹で

ある議会としても、例えば財政

では事務事業評価を踏まえ決算認定から予算要望そして予算審議と連動させることが重要。他に総合計画、条例制定・検証、

政策提言・決議、質問・追跡調査等でも議会からの政策サイクルを確立して善政競争をすべき。

二日目、民俗研究家の結城登美雄氏とテレビキャスター後藤謙次氏の各90分の講演で全日程が終了した。



ジャーナリスト
後藤 謙次 氏

「30・10運動」を展開

「食べ残しを減らす」意識の高まりに期待

発議第2号

球磨焼酎を飲むときガラとチョコを使う…条例を一部改正。「食べ残しを減らす町民運動」の展開も盛り込んだ改正案を全会一致で可決した。

従来の条文には事業者の分別として「食べ物をその利用者個々人の責任において持ち帰りができる様に準備し」と明記していたが、飲食店によって対応ができない所もあり、今後ルール

作りを消費者も含めたところで検討することにした。また、乾杯後30分間は自席で料理を味わい、お開き前10分間は再度、自席で食べる「30・10（さんまる・いちまる）運動」を利用者に理解を求め、食べ残しがないように個々人の胃袋に消費し生ごみの排出減量につながるよう「食べ残しを減らそう町民運動」と展開していくこととした。

町民の皆様のご協力をお願いします。



有機センターでの生ゴミの分別作業

須恵小学校の未来を考える



須恵屯所
田崎洋一郎

私は今年度、須恵小学校のPTA会長を務めさせて頂いています。去る5月25日須恵小学校の運動会が開催されました。中学校の統合により、それまで合同で行っていた運動会も小学校単独となって3回目となりました。年々違和感がなくなり、全校児童58名、教職員や来賓の方々、保護者、地域の皆さんが一体となって盛り上がった運動会でした。

しかし、この須恵小学校も近年、少人数複式学級の「危機」の状態が続いています。このままいけば、来年度はいよいよ複式学級が始まります。現在、屯所地区に子育て世代を対象とした町営住宅が建設されていますが、必ずしも複式解消に該当する子どもが入るという確証はないところです。学校の方でも、子どもが増えるのを待つだけでなく複式学級に向けた準備も進めておられます。複式が全て悪いとは言いませんが、1～2名いれば回避できるのであれば回避したいというのが本音です。

私の希望としては、須恵を出て暮らしている若い人達が須恵の実家に帰ってきて、この『須恵地区』を元気にしてほしいと思います。

近い将来、小学校統合という話もあるかもしれませんが、いつまでも須恵小学校の子どもたちの元気な声が響くよう願っています。



免田西
前田 結美

地域医療体制の早期確立を

今年の初め急に体調が悪くなり、救急車のお世話になりました。鹿児島から帰省していた妹家族と夕食を済ませ、しばらくした頃、徐々に体調が悪くなり、息をすることが苦しくなりました。看護師をしていた妹の判断で、救急車を呼んで病院に行くことにしました。

ちょうどその頃です。公立多良木病院が医師不足により、このままだと24時間体制の救急医療に影響が出るおそれがあると聞いたのは。家族の不安は「きちんとした治療を受けられるのか」ということでした。そのこともあり、かけつけていただいた救急隊員にお願いをし、人吉総合病院に運んでいただきました。救急隊員の方には本当に感謝しています。救急にとって、時間は命につながります。病院の問題は、あさぎり町だけの問題ではありませんが、決してゆっくり考えていく問題でもありません。私たちが安心して暮らせるためにも、地域医療の問題の早期解決を強く望みます。

編集後記

備えあればうれいなし
数十年に一度と言われる最大級の台風8号の接近に備え、いち早く災害対策本部を設置し対応を図った今回。巡廻時では大きな被害も見られず、ホッと胸をなでおろしているところです。

議会だよりも6月から新メンバーとなりました。今年度の表紙のテーマは「笑顔」です。色々な場面で町民の皆さまの素敵な笑顔を見つけていきたいと思っています。

「わかりやすく伝わりやすい身近な広報誌」作りを委員力を合わせて一年間取り組んでまいりました。
(加賀山)



編集・発行責任者 議長 橋爪和彦

広報調査特別委員会

委員長	加賀山 瑞津子
副委員長	橋本 誠
委員	田原 健一
	溝口 峰
	小見田 正和
	徳永 道行

発行/あさぎり町議会 編集/議会広報調査特別委員会
〒868-0422 熊本県球磨郡あさぎり町上北1855番地
TEL(0966)47-0312・FAX(0966)47-0265
E-mail: syoki-gikai@town.asagiri.lg.jp 印刷:旬コーポレーション

あさぎり町議会だよりは
ホームページでもご覧頂けます。